らびっとにゅうず VOL.271 2019/8/30

==================================================

●○● INDEX ●○●

【頼り合える社会づくり通信】no.8（2019/8/30）
◆3.11 の今がわかる会議 in 東京【新情報】
◆お伝の会
　ソーシャルワークという希望―頼りあえる社会と新しい公・共・私ー
◆社会・政治を変えたい NPO 向け広報セミナー
　〜戦略的広報の実践〜 ロビイングだけでは政策は変わらない！
◆湘南邸園文化祭 2019 を開催します！【新情報】
◆まちに”小さな主人公”が育つしかけとは？
　〜NPO インターンシッププラボシンポジウム 2019〜【新情報】
◆全国トンボ・市民サミット横浜大会
◆フードバンクに関する政策研究会
　第 2 回　食品ロス削減推進法と横浜市の対応
◆緊急のお願い　食用油が不足してます
◆三菱地所株式会社　障がいのある子どもたちの絵画コンクール【新情報】
◆いきがい・助け合いサミット in 大阪
　共生社会をつくる地域包括ケア〜生活を支え合う仕組みと実践
◆かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク学習会
「外国人労働者受入の現状と課題」【新情報】
◆第 8 回 市民社会創造ラボ
「共に生きる地域をめざしてー地域の住民としての外国人」【新情報】
◆障害福祉と文化芸術の関わりを考える勉強会
“わたし”と“あなた”の関係づくり【新情報】
◆第 16 回　ゴールドコンサート本戦【新情報】
◆かわさき子どもの貧困問題研究会 第 8 弾イベント
　前川喜平講演会「子どもの貧困と教育の未来」【新情報】
◆かながわ女のスペースみずら　ボランティア電話相談員養成講座【新情報】
◆８０５０問題を考える【新情報】
◆子どもみらいセミナー
◆フリ・フリ・フェスタ 2019
　神奈川県内のフリースクール、フリースペースが集まってくるお祭り

【さまざまな催し】
◇Yahoo!基金 NPOの知らせる力プロジェクト
　プロのジャーナリストに学ぶ「書き手講座」【新情報】
◇SNSを活用した資金調達のコツを学ぼう！
　日本郵便年賀寄附金配分事業説明会同時開催【新情報】
◇日本フィランソロピー協会　第361回 定例セミナー
　テーマ「障がい者雇用への新しい道筋」【新情報】
◇支援力アップ塾　ステップアップ編－2
　「地域を耕す、相談活動」【新情報】
◇ファンドレイジング・日本　2019

【募集】
〇2019年度　子どもたちのこころを育む活動【新情報】
〇読売福祉文化賞を募集【新情報】
〇第17回企業フィランソロピー大賞
〇第25回NHKハート展―詩の募集
〇「公園・夢プラン大賞」募集

【助成】
〇第8回SJF(ソーシャルジャスティス基金)助成公募【新情報】
〇公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
　NPO基盤強化資金助成【新情報】
〇2019年 スミセイ　コミュニティスポーツ推進助成プログラム【新情報】
〇こくみん共済coop〈全労済〉2019年地域貢献助成事業【新情報】
〇大和証券福祉財団　令和元年度（第26回）ボランティア活動助成募集のご案内【新情報】
〇トヨタ財団一般助成（しらべる助成／そだてる助成／発信・提言助成）
〇子供の未来応援基金　第4回支援団体募集【新情報】
〇ベネッセ子ども基金　重い病気を抱える子どもの学び活動支援助成【新情報】
〇東京海上日動あんしん生命　給付型奨学金制度・幼児教育支援制度募集
〇住友生命　未来を強くする子育てプロジェクト募集
　ー子育て支援活動の表彰・女性研究者への支援―
〇三井物産環境基金 ～未来につながる社会をつくる～
　2019年度 活動・研究助成案件の募集【新情報】
〇2019年　花王・みんなの森づくり　活動助成プログラム【新情報】
〇TOYO TIRE グループ環境保護基金　2020年度助成先募集開始
〇令和2年度　花博自然環境助成

==========================================

【頼り合える社会づくり通信】no.8（2019/8/30）

==========================================

◎アリスセンターはこれまでの「らびっとにゅうず」に特集のページを加え、テーマと地域により密着し、共有と交流、発信的なスタイルを持った「頼り合える社会づくり通信」を発刊します。ご愛読お願いします。

○情報は、このテーマに取り組んでいる神奈川県内や全国規模で活動して団体や活動をリストアップして定点的に情報収集や取材を行い情報発信していきます。

○リストアップの３つの視点

１分断線の現状を明らかにする情報※１

２地域での関係やつながりを創造（再生）する活動※２、

３市場経済の原理だけで形成されない新しい働き方

※１分断線

1）貧困・所得格差間　2）受給者間（教育・福祉・介護・保育等）　3）世代間（若者と高齢者）　4）地域間（都会と地方）5）雇用者間（正規・非正規）　6）男女（性差）7）入居者間（公営住宅）　8）国籍（国民・移民・外国籍）9）政治意識間（政治的急進主義と穏健寛容派）　10）市民意識間（他者への無関心と他者への関心、信頼と不信感）

※２　地域での関係やつながりを創造（再生）する活動

1）地域全般・制度全般、2）まちづくり（弱者の視点からの防災・見守り合い・協働の活動、協議会型住民自治組織、元気な参加型地域づくり・シェアリングエコノミー）　3）居場所づくりの活動（子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク）　4）高齢者福祉・介護の活動　5）障がい者福祉（発達障がいや子育て等の孤立化防止活動、パラスポーツ等）　6）多世代参加型子育ての活動　7）外国籍市民との共生の活動　8）アート活動（障碍者・地域等との協働等）9）子ども・若者・女性の支援　10）様々なネットワークの活動　11）市民基金の活動　12）人権・平和の活動　13）住宅支援の活動　14）環境・エネルギーの活動　15）マイノリティ支援の活動（LGBT 等）

ーーーーーーーーーーーーーーーー

「頼り合える社会づくり通信」

ーーーーーーーーーーーーーーーー

(1)地域全般・制度全般

●ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

3.11 の今がわかる会議 in 東京

-----------------------------------------------------------------------

東日本大震災から８年が経過しますが、復興は道半ばにあり、コミュニティ形成や見守り、過疎化・人口減少を踏まえた復興まちづくり、震災で傷ついた子どもの支援、避難指示解除後の生活再建など共通課題から各県の個別課題がいまなお残っています。
これらの課題を考えることは、これから日本が抱える社会課題を考えることにもつながり、また、各地で発生している次の災害への教訓や知見を生み出す機会でもあります。
岩手県、宮城県、福島県ならびに開催地である東京からもゲストを迎えて多くの方と考えましょう。
なお、当事業は、復興庁コーディネート事業として助成を受けています。
■日時：2019 年 9 月 9 日（月）　13:30〜18:00　※13:00 受付開始
■場所：TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター　ホール 12A
■参加料：　無料
■主催：東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）
■共催：東京ボランティア・市民活動センター
■対象：東日本大震災の復興支援に関わりたい団体・企業・個人（100 名）
■詳細は
　https://jpn-civil.net/2014/blog/2019/07/311_in_99.html
■参加方法
　申込フォームからお申込みください。
　https://jpn-civil.net/2014/contact/genchi_kaigi_tokyo/
（※複数名で申し込まれる場合は、お手数ですが、お一人ずつお申込みください）
■お問合せ
　東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）事務局
　ＴＥＬ　03-3277-3636
　メール: office@jpn-civil.net

●————————————————————————————————————
お伝の会
ソーシャルワークという希望ー頼りあえる社会と新しい公・共・私ー

-----------------------------------------------------------------------

財政学の視点から「尊厳ある社会保障」と「品位ある命の保障」をベースとした頼りあえる社会を提唱する井手英策・慶応大学教授と、神奈川県内で活動する、さまざまな分野の実務家が集う「お伝（おでん）の会」では、これまで、それぞれの施設・地域のリサーチや勉強会、さらに連続講座を開催してきました。
そして今回、「よりよい生」を実現させるソーシャルワーク（＊）のかたちについて、より多くのみなさんとともに語り合いたいと思い、対話の場を企画しました。

どうぞ、みなさん、学びと実践の“輪”に加わってみませんか。

■日　時：2019年10月5日（土）13:30〜17:00
■プログラム
　13:30〜　開　会〜お伝の会紹介〜
　13:40〜　講　演　井手英策・慶応大教授
　14:40〜　井手さんとセッション
　15:30〜　グループワーク
　17:00　　終　了
■会　場：湘南とつかYMCA（戸塚駅より徒歩5分）
■参加費：1,000円
■定　員：150名【先着順】
■お申込み／申込先メールアドレス　oden.no.kai.mail@gmail.com
　氏名（ふりがな）、所属を明記の上、メールにてお申込みください。
※学びと実践の“輪”を広げていく場にするため、当日は参加者リスト（氏名・所属を明記）を作成して参加者みなさんにお配りする予定です。その旨をご了解の上、お申込みください。
■主　催：お伝の会
　https://www.facebook.com/odennokai/
※「お伝の会」は、井手英策・慶應義塾大学教授の呼びかけに、高齢者福祉、障害者福祉、多世代が集う居場所づくり、子育て支援、小規模多機能自治、多文化共生、とそれぞれの分野で活躍する県内の人たちが集う学び合いの場です。
■協　力：公益財団法人横浜YMCA／公益財団法人かながわ国際交流財団

〜 〜 〜 〜 〜
＊なぜソーシャルワークなのか？
この社会にはさまざまな問題がうめこまれている。だから、それらを掘りおこし、専門的な知見を活かしながら、ときには行政にはたらきかけ、ときには地域の人的、社会的資源をフル活用しながら、人びとの「よりよい生」を実現していく「だれか」が必要となる。
こうした「しごと」をつうじて社会の変革をめざす、それがソーシャルワークである。担い手であるソーシャルワーカーは、ただのサービスの提供者ではない。社会資源の利用と発掘、さらには、それらの接続をはかり、人びとの背後にある複雑な問題を解きほぐしていく。だからこそ、彼らは、社会の改革者となる。
——井手英策『幸福の増税論——財政はだれのために』（岩波新書、226ページ）より。
〜 〜 〜 〜 〜

●————————————————————————————————————

社会・政治を変えたいNPO向け広報セミナー
～戦略的広報の実践～ ロビイングだけでは政策は変わらない！
-------------------------------------------------------------------
特に、政策提言・アドボカシー活動に取り組むNPOにおすすめ。
日本はいま、大変厳しい時代に入っています。企業が優先される一方、経済的な弱者は切り捨てられ、子どもたちの貧困が広がっています。差別は野放しのまま、環境問題や人権問題への取り組みも世界から大きく遅れをとっています。
その原因を作っているのは、市民セクターに発信力がないこと。海外のＮＧＯに比べ、戦略的な広報を実践できていない団体があまりに多いことが挙げられます。報道を変え、時代を動かすために、どうすればいいのか。国際ＮＧＯ広報担当者と現役の新聞記者から、具体的な成功事例とプレスワークの実践を学びます。

■対　象：ＮＰＯ法人・労働組合・市民団体の代表・広報担当者など
　　　　（主に有給スタッフ２人以上の組織・団体）
■日　時：9月2日（月）10：00～17：00
■会　場：千代田区かがやきプラザ 4階 研修室１・２(九段下駅下車徒歩 3分)　アクセス
■定　員：30人（先着順／定員に達し次第締め切ります）
■参加費：10,000円（割引あり：同組織で２人参加の場合２人で15,000円）
■特　典：特典１ 9/2 講座終了後マスコミ記者との懇親会に参加（会費：3,000円程度）
　　　　特典２ 記者を招いての「広報ゼミ」に優先的に参加（10月開始／定期開催）
■主催・問い合わせ先：認定NPO法人OurPlanet-TV（担当：高木・白石）
東京都千代田区神田猿楽町2-2-3NSビル202
TEL：03-3296-2720　FAX：03-3296-2730
EMAIL：info@ourplanet-tv.org
■詳細・お申込み
http://www.ourplanet-tv.org/?q=node/2412
――――――――――――――――――――――――――――――――――――

(2) まちづくり

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
湘南邸園文化祭2019を開催します！
-------------------------------------------------------------------
湘南邸園文化祭は、今年で14回目を迎えます。

今年は、14 市町を会場に、61 の催しを開催いたします。
湘南に残る邸園（邸宅・庭園、歴史的建造物等）を舞台とした、各地域の NPO 等 31 団体による様々な催しを
行いますので、ぜひ会場まで足をお運びください。
■日時：2019 年 9 月 13 日（金）〜12 月 15 日（日）
■催しの詳細につきましては、下記の湘南庭園文化祭のサイトから湘南邸園文化祭 2019 ガイドブック、または各会場の記事をご覧ください。
　湘南邸園文化祭
　http://shonan-teien-festival.org/
■主催　三崎の町再発見ウォークラリー実行委員会 / 横須賀建築探偵団 / 特定非営利活動法人葉山環境文化デザイン集団 / 山口蓬春記念館 / 葉山東伏見宮別邸サロン / 琴アカデミー / サロンギャラリー明風 / 特定非営利活動法人逗子の文化をつなぎ広め深める会 / 原風景を生かすまちづくりの会 / 鎌倉邸園文化クリエイション / 鎌倉の別荘地時代研究会 / 片瀬腰越津旧鎌倉郡研究会 / 株式会社エンジョイワークス / 特定非営利活動法人旧モーガン邸を守る会 / 善行雑学大学 / 湘南藤沢文化ネットワーク / 盛岩寺昭和文化館 / 茅ヶ崎の文化景観を育む会 / 八幡山の洋館 / 公益財団法人神奈川県公園協会 ・ 湘南造園株式会社グループ / 公益社団法人大磯町観光協会 / 大磯まちづくり会議 / まちづくり工房 「しお風」 / 特定非営利活動法人小田原まちづくり応援団 / 小田原邸園文化ネットワーク / 湯河原温泉 ・ 粋な温泉めぐりの会 / 公益財団法人神奈川県公園協押�
q� ・ 株式会社ランドフローラグループ / 公益財団法人横浜市緑の協会 / 神奈川県登録有形文化財建造物所有者の会 / 特定非営利活動法人神奈川まちづかい塾 / 湘南邸宅文化ネットワーク協議会 ◎共催｜湘南邸園文化祭連絡協議会 （会長 ： 内藤英治） ◎この事業は、 神奈川県（ 担当 ： 都市整備課 ）との協働により開催しています。
■問合せ先
各プログラムの詳細や申込み　→　各主催団体にお問い合わせください
湘南邸園文化祭の概要について　→　湘南邸園文化祭連絡協議会事務局（ 邸園文化調査団）
tel. 045-341-0087　 http://shonan-teien-festival.org/

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
まちに”小さな主人公”が育つしかけとは？〜NPO インターンシップラボシンポジウム 2019〜
-------------------------------------------------------------------
今年も NPO インターンシップラボではシンポジウムを開催します。
第２回目となる今年のテーマは「まちに”小さな主人公”が育つしかけとは？」
と題し、２つのパネルディスカッションを通じて、議論を深めます。
これからのまちにはどんな人材が必要なのでしょうか。

また、学生の地域への関わり方は多岐にわたる中ではどんなプログラム、どんなコーディネーションが必要なのでしょうか。
本シンポジウムでは既に地域で学生の育成に関わっている実践者や学生と NPO のコーディネーションに関心のある多様な立場の方が集まり、皆で考えていく機会にしたいと思います。
■日　時：9 月 16 日（月祝）13:00?17:00
■会　場：青山学院大学　青山キャンパス　17 号館　17306 教室
https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html
■定　員：100 名
■参加費：2,000 円
■参加申込　WEB よりエントリーください。http://npointernship-lab.net/action/2019.html
■対象者
・インターンシッププログラムの作り方や運営に関心がある方
・インターンシップに関心のある中間支援 NPO や受入 NPO、大学生の皆さん
・サービス・ラーニング等の授業を担当している教員の方々
・大学ボランティアセンターのコーディネーター
・学生の育成や地域活動に関心のある企業・行政・財団の方々
■主催：NPO インターンシップラボシンポジウム実行委員会
■共催：青山学院大学 サービス・ラーニング パイロットプロジェクト
■助成：公益財団法人トヨタ財団
■詳細についてはホームページ参照　http://npointernship-lab.net/action/2019.html

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
全国トンボ・市民サミット横浜大会－トンボを通して環境の未来を子どもたちと創造しよう！－
-----------------------------------------------------------------------
トンボサミットは、1990 年に「トンボを指標とした自然再生やまちづくり」をおこなっている仲間が全国から横浜へ集まり開催された「トンボと水辺環境等について情報交換会・交流会」を第 1 回大会としはじまりました。その後、開催地は全国を巡り、「トンボ生息地の保全や復元」、「自然環境保護」、「自然を通した教育」、「自然と環境を活かしたまちづくり」などのテーマで、毎年開催されてきました。第 30 回の記念大会となる横浜大会では、今までのサミットの成果や横浜が掲げてきた「トンボの飛び交うまちづくり」を振り返り、次世代へつなぐ新たな一歩を踏み出す大会を目指します。
大会テーマ：「トンボを通して環境の未来を子どもたちと創造しよう！」
■日時　2019 年 9 月 7 日（土）～8 日（日）

■場所：地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）他
■プログラム
全体会・基調講演・分科会：神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）
見学会：京浜臨海部企業緑地他、本牧・南部臨海部公園他
交流会：キリンビール横浜工場内　レストラン　ビアポート２階
■参加費：資料代 1,000 円、見学会 2,000 円、交流会 4000 円
■プログラム：エクスカーション（見学会）（９/7)、本大会(9/8)他
■詳細は http://tombosummit.org/2019/04/26/yokohama/
■問い合わせ：全国トンボ・市民サミット横浜大会実行委員会事務局
■E-mail：yokohama30@tombosummit.org
―――――――――――――――――――――――――――――――――

(3）居場所づくりの活動（子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク）

●―――――――――――――――――――――――――――――――――
フードバンクに関する政策研究会
第２回　食品ロス削減推進法と横浜市の対応
-----------------------------------------------------------------
■講師；井手尾剛史さん（横浜市資源環境局政策調整部３R 推進課担当係長）
■日時：2019 年 9 月 12 日（木）16:00～17;30
■場所：フードバンクかながわ（金沢区富岡 2-4-45　新杉田からシーサイドライン鳥浜駅徒歩３分）
■主催　（公益社団法人）フードバンクかながわ
■問合せ先　（公益社団法人）フードバンクかながわ　info@fb-kanagawa.com
TEL: 045-349-0051

●―――――――――――――――――――――――――――――――――
緊急のお願い　食用油が不足してます
-----------------------------------------------------------------
フードバンクかながわでは現在、食用油が不足しています。
賞味期限が２か月以上ある、開封されていない食用油のご提供をお願いします。
ご連絡をお待ちしています。
■問合せ先　　公益社団法人フードバンクかながわ
〒236-0051　神奈川県横浜市金沢区富岡東２丁目 4-45

TEL：045-349-5803/ FAX:045-349-5804
e-mail：info@fb-kanagawa.com
―――――――――――――――――――――――――――――――――――

（4）高齢者福祉・介護の活動

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
三菱地所株式会社　障がいのある子どもたちの絵画コンクール
--------------------------------------------------------------------
障がいのある子どもたちの絵画コンクール「第18回キラキラっとアートコンクール」の作品募集を開始しています。期間中に応募された作品から、審査会をへて優秀賞50作品を選出し、その作品展を2019年11月1日～2020年2月下旬にかけて、全国9会場で順次開催予定です。
■募集期間：2019年7月1日（月）～　9月4日（水）
■詳細：https://kira-art.jp/

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
いきがい・助け合いサミット in 大阪
共生社会をつくる地域包括ケア～生活を支え合う仕組みと実践
--------------------------------------------------------------------
助け合い、支え合う共生の地域づくりに挑戦している全国の関係者が一堂に会し、
課題や取り組みのノウハウを共有して、つながりを深める、さわやか福祉財団主催のサミットを、本年９月９日（月）～１０日（火）に大阪市の大阪府立国際会議場「グランキューブ大阪」で開催します。
詳細は
https://www.sawayakazaidan.or.jp/summit-osaka/

■開催日時
２０１９年9月9日（月）～１０日（火）
　9日（月)：１３：００～１７：５０（１８：３０～大交流会)
１０日（火)：　９：００～１５：５０
■会　場
大阪府立国際会議場「グランキューブ大阪」
大阪府大阪市北区中之島５丁目３－５１
■主　催

公益財団法人さわやか福祉財団
TEL03-5470-7751
■参加費
資料代として２，０００円
（１０日の昼食申し込みの場合、別途１，０００円）
※大交流会参加者は、別途参加費３，０００円
■主な対象者
生活支援コーディネーター及び協議体他地域活動関係者・組織、国、地方厚生局、地方自治体等及び民間団体の関係者をはじめ、助け合い、支え合う地域づくりに関係する幅広い分野の人々、その他関心を持つ一般住民の皆さんなど
――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

(7) 外国籍市民との共生の活動

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――――
かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク学習会
「外国人労働者受入の現状と課題
〜外国人労働者と共に、多文化共生をめざして」
-----------------------------------------------------------------------
政府は、待ったなしの人手不足を背景に新たな在留資格「特定技能」を新設して今年の４月からスタートしました。今後５年間で、最大３５万人の外国人労働者を介護、外食、建設、宿泊、製造等の業種で受け入れる予定だそうです。
身近なところではコンビニや宅配、飲食店では相当の外国人労働者が 働いています。
これまで、働きながら学ぶという「技能実習生」は無権利に近い状態で働かされていました。
現在、国内では約２６０万人の外国人が生活し、働いています。
生活困窮者支援においても、こうした日本に暮らす外国人への支援が不可欠な状況になっています。
今回の学習会では、在留資格一般に関する基礎知識や、外国人労働者受入の現状と課題について、この問題に詳しい弁護士の飯田学史氏からお話を伺います。
外国人労働者の生活や働き方の現状と課題を学び、共に生きる地域づくりに役立ていきましょう。是非、ご参加ください。
■日時：２０１９年9月5日（木）午後３時〜５時
■会場：かながわ県民サポートセンター７１１号室（横浜駅徒歩５分）
■講師：横浜はばたき法律事務所　弁護士　飯田学史(さとし)氏
■対象：生活困窮者や課題を抱える人たちへの支援を実施している NPO、自治体、関係機

関など
■定員：25 名（申し込み先着順）
■参加費：無料
■主催：かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク（かなこんネット）
　https://www.facebook.com/kanacon/
■問い合わせ・申し込み
かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク全体事務局
（一社）インクルージョンネットかながわ
247-0056 鎌倉市大船 1-23-19 秀和第 5 ビル 3 階 B
TEL：0467-47-9291 FAX：0467-47-9290
e-mail：incl@inclusion-net.jp
★お申込みの際には、お名前、所属、連絡先（メールアドレスと電話番号）をお知らせください。また、今回の学習会で知りたいことや関心のあること があればあわせてお知らせください。
★当日、参加者名簿（お名前と所属）を配布しますので、支障のある方はお知らせください。
※この学習会は、かながわボランタリー活動推進基金 21 協働事業負担金対象事業の一環として実施しております。

●―――――――――――――――――――――――――――――――――
第 8 回 市民社会創造ラボ
「共に生きる地域をめざしてー地域の住民としての外国人」
---------------------------------------------------------------------
ヘイトスピーチや隣国との不幸な争いが続いていますが、今こそ分断を超えた市民社会の形成を考える必要があると考えます。
今回は、長年にわたり分断を越えたコミュニティの形成に取り組まれてきたぺいさんのご経験から、多様な人々が共生できる社会の姿を探ります。
■日時：9 月 18 日(金)18:30～20:30
■場所：日本 NPO センター会議室（千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル B116）
＊地下 1 階の会議室です。
　https://www.jnpoc.ne.jp/?page_id=629
■ゲスト　ぺい・あんさん（かながわ外国人すまいサポートセンター理事長）
■テーマ　「共に生きる地域をめざしてー地域の住民としての外国人ー」
■内容　ゲストに課題提起をしていただいた後に、参加者同士で議論を深めていきます
■対象・定員テーマに関心のある方は、どなたでもご参加いただけます。定員 20 名
＊先着順/定員になり次第に締切

■参加費　2,000 円（日本 NPO センターの正会員は 1,500 円）
＊当日受付にて現金でお支払いください
■詳細についてホームページをご覧ください。
　https://www.jnpoc.ne.jp/?p=18219
■お申し込み　こちらのお申込みフォームにご記入のうえ、ご送信ください。
　https://bit.ly/2KCXeQ9
■ゲスト紹介
ぺい・あんさん
かながわ外国人すまいサポートセンター 理事長
外国籍県民かながわ会議委員第 1 期委員、外国籍県民かながわ会議 2 期委員。第一期最終提言を受け神奈川県、不動産業界団体などとの連携により「かながわ外国人すまいサポートセンター」設立。現在、現理事長。
鎌倉市、藤沢市からの委託による生活困窮者自立支援事業を実施する「一般社団法人インクルージョンネットかながわ」理事、専門アドバイザー、スーパーバイザー、神奈川県、川崎市、横浜市、鎌倉市の居住支援協議会幹事、副会長、部会長などを務める。
■お問い合わせ
認定特定非営利活動法人日本 NPO センター（担当：椎野、清水）
100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 245
E-mail：research@jnpoc.ne.jp　ＴＥＬ：03-3510-0855　ＦＡＸ： 03-3510-0856
――――――――――――――――――――――――――――――――――――

(8) アート活動

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
障害福祉と文化芸術の関わりを考える勉強会
“わたし”と“あなた”の関係づくり
-----------------------------------------------------------------------
昨今、文化芸術の分野においては、障害のある人を含む多様な人たちや地域と関わることについて、多くの注目が集まっています。
この勉強会では、障害のある人の表現活動を支えている人の実践を伺い、障害福祉と文化芸術がお互いにとってより身近な存在となるためにできることは何か、考えを深めます。
各回ではグループディスカッションの時間も取る予定です。みなさんと一緒に障害福祉と文化芸術のより良い関わりを探究していきます。

■第 1 回　身体と身体の出会い
日時：2019 年 9 月 27 日(金)14 時～16 時

会場：ミューザ川崎シンフォニーホール　市民交流室（JR 川崎駅徒歩 3 分）
ゲスト：上村なおか(ダンサー・振付家）
参加費：　500 円

■第 2 回　障害のある人との向き合い方 ～合理的配慮って？
日時：2019 年 10 月 23 日(水)19 時～20 時 30 分
ゲスト：又村あおい
(全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員・内閣府障害者差別解消法アドバイザー)
会場：ＳＴスポット（横浜駅徒歩 10 分）
参加費：500 円

■第 3 回　創作活動を支えるために
日時：2019 年 12 月 5 日(木)14 時～16 時
ゲスト：野崎美樹
(NPO 法人スローレーベル　インクルーシブ・プロジェクトマネージャー)
会場：横浜市旭区民文化センター サンハート　ミーティングルーム（相鉄線二俣川駅徒歩 1 分）
参加費：無料

■第 4 回　障害のある人の声をきく
日時：2020 年 1 月 27 日(月)　19 時～20 時 30 分
ゲスト：横浜ピアスタッフ協会 中村麻美
　　　　(地域活動支援センターひふみ 施設長)
会場：ＳＴスポット（横浜駅徒歩 10 分）
参加費：500 円

■対象
障害者との文化芸術活動に取り組んでいる、もしくは取り組みたいと考えている方。
主に文化施設や芸術団体に関わる方を想定していますが、ご興味をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。
※4 回連続のご参加をお勧めしますが、１回ごとのご参加も可能です。
■定員 各回 20 名（先着順、要事前申込）
■お申込み方法
件名を「勉強会参加」として、以下の内容をこちらのメールアドレス（community@stspot.jp）までお送りください。こちらからの返信をもってご予約完了となります。
（１）お名前（ふりがな）

（２）ご所属（あれば）
（３）参加ご希望の回
（４）当日連絡用の電話番号
（５）メールアドレス
（６）この勉強会に期待すること　※短くて構いませんので、ぜひお知らせください。出来る限り内容にも反映させていきたいと思います。
※参加するにあたって特別な配慮が必要な方は、２週間前までにお知らせください。
※当日は記録のために写真撮影を行うことがあります。
■お問合せ
認定ＮＰＯ法人ＳＴスポット横浜
地域連携事業部
担当：田中真実、川村美紗
〒220-0004　横浜市西区北幸 1-11-15 横浜ＳＴビル 208
TEL：045-325-0410　FAX：045-325-0414　MAIL：community@stspot.jp
WEB：https://welfare-stspot.jimdo.com/

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
第 16 回　ゴールドコンサート本戦
-----------------------------------------------------------------
国内外の音源審査、予算を勝ち抜いた障がいのある実力派ミュージシャンが集結！
この活動を通して、2020 年東京パラリンピック競技大会を音楽の分野から盛り上げましょう。
■日時：2019 年 10 月 14 日（月・祝）15:30～
■場所：東京国際フォーラム　ホールＣ（バリアフリー対応会場）
■主催：NPO 法人日本バリアフリー協会
■詳細：https://gc.npojba.org/16/pr/release/20190708
―――――――――――――――――――――――――――――――

(9) 子ども・若者・女性の支援

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
かわさき子どもの貧困問題研究会 第８弾イベント
前川喜平講演会「子どもの貧困と教育の未来」
---------------------------------------------------------------
◆日時：2019 年 9 月 6 日（金）18：30～20：30　(開場 18：00)

◆会場：川崎商工会議所 会議室

（京急川崎駅から徒歩１分・JR 川崎駅から徒歩３分／川崎市川崎区駅前本町 11-2 川崎フロンティアビル２階）

◆講師：前川喜平（現代教育行政研究会 代表／元 文部科学事務次官）

◆参加費：500 円

◆主催：かわさき子どもの貧困問題研究会

共催：川崎商工会議所

協賛：生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ

後援：川崎市、神奈川県弁護士会

◆申し込み・問い合わせ：かわさき子どもの貧困問題研究会

E-mail： kenkyukodomo@yahoo.co.jp

HP： https://www.kenkyukodomo.com/

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――

かながわ女のスペースみずら　ボランティア電話相談員養成講座　2019 年度募集

----------------------------------------------------------------

みずら相談員室は、女性のための何でも相談です。 女性が抱えるさまざまな悩みを一緒に考え、解決への手助けをしています。

資格や経験は一切問いません。あなたも、みずら相談員になってみませんか？

■受講の要件：○ 女性問題に興味・関心のある女性の方 ○ ボランティア電話相談員として、活動可能であることが望ましい　 ○ 相談員をご希望の方は、原則全講座出席可能であること

■定　員：先着３０ 名

■料　金：受講料 ￥3.000（会員、賛助会員は￥2.000）

■日　程 ２０１９年 ９月１４日（土）１３：００～１７：３０

■会　場 かながわ県民活動サポートセンター３０４号室

■お申し込み・お問い合わせは下記までご連絡ください。

相談員までの流れなど、詳しい内容を記したチラシをお送りいたします。

■問い合わせ先

特定非営利活動法人　かながわ女のスペースみずら

〒221－0057 神奈川県横浜市神奈川区青木町 2－1－613

ＴＥＬ045-451－3776　ＦＡＸ045-451－6967

http://www.mizura.jp

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――

８０５０問題を考える

-------------------------------------------------------------------

長期化するひきこもりにより、社会との関わりが希薄となった子どもの生活を、高齢 の親が支え続ける「８０５０問題」。

「８０代の親と５０代のひきこもりの子ども」を表す社会問題として近年マスコミに 取り上げられるなど、社会的関心が高まっています。

今回は、生きづらさを抱える当事者、家族の支援に長年携わるソーシャルワーカーを 講師に迎え、ひきこもりが生じるさまざまな背景や、思春期、青年期から中高年まで の支援の在り方、多様な社会とのつながり方を事例をまじえながらお話いただきます。

これからの生活を考えるきっかけに、また、当事者や家族を見守り、手をさしのべる ために何ができるか一緒に考えてみませんか。

■日時：２０１９年9月１９日（木）　１０：００～１２：００

■会場：日野南地域ケアプラザ ３階 多目的ホール

〒234-0055 横浜市港南区日野南三丁目１番 11 号

■講師：港南区福祉保健センター 生活支援課　香坂 さやか 氏

横浜市青少年相談センター 相談員　 鹿角 浩美 氏

■対象：関心のある方 どなたでも

■定員：先着５０名

■参加費：無料

■申込方法：８月１６日（金）から電話、メールまたは ケアプラザの窓口へお申込みください。

■問い合わせ・申込み先：日野南地域ケアプラザ （バス停：港南車庫入口下車すぐ）

電 話： ０４５－８３６－１８０１ ／ FAX：０４５－８３６－１８１３

E-mail： chikou-hinominami@soyokaze.or.jp

■講師プロフィール

〇香坂 さやか氏 平成 26 年から港南区にて生活保護担当ケースワーカー 平成 31 年から生活困窮者支援担当として勤務　横浜市社会福祉職 ソーシャルワーカー

〇鹿角 浩美氏　 平成 24 年から青少年相談センターに勤務　横浜市社会福祉職 ソーシャルワーカー

●――――――――――――――――――――――――――――――――――

子どもみらいセミナー

-------------------------------------------------------------------

全国の小・中・高生が受けたいじめ認知件数（2017 年度）は 41 万件、平成 29 年度に全国の児童相談所が対応した児童虐待件数は 13 万 3,778 件（速報値）とそれぞれ過去最多を記録しています。4 年目となるセミナーでも継続して、増加の一途をたどる「いじめ」「児童虐待」「子どもの貧困」を取り上げていきます。

■日程・開催場所
セミナー(1) 8 月 18 日（日）「いじめストップ！」（横浜中央 YMCA）
セミナー(2) 9 月 29 日（日）「虐待の連鎖を止めよう」（ワークピア　横浜）
セミナー(3) 11 月 18 日（日）「子どもの貧困」（ワークピア　横浜）
■時間：14:00～17:00（各回とも）
■受講料：3 回連続 5,000 円、1 回のみ 2,000 円
■問合せ先：認定 NPO 法人　神奈川子ども未来ファンド事務局　TEL＆FAX　045－212－5825
E-mail info@kodomofund.com　https://www.kodomofund.com

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
フリ・フリ・フェスタ 2019
神奈川県内のフリースクール、フリースペースが集まってくるお祭り
----------------------------------------------------------------------
■日時：2019 年 9 月 14 日（土）11:00～15:00
■場所：神奈川県立青少年センター
■問合せ先：認定 NPO 法人フリースペースたまりば　044-833－7562
――――――――――――――――――――――――――――――――――――

【さまざまな催し】

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
Yahoo!基金 NPO の知らせる力プロジェクト
プロのジャーナリストに学ぶ「書き手講座」
----------------------------------------------------------------------
NPO にとって、自分達のミッションに共感してもらい応援してくれる人を増やすための情報発信は、本来最優先で取り組む活動の一つであるべきです。しかし、目の前の業務に追われたり、メッセージをまとめるのが苦手だったりしてついつい後回しになっていませんか？　また、力を入れてアピールしているにもかかわらず、周囲によく伝わらず悩んでいることはありませんか？
今回の講座では、文章のプロである新聞記者経験者が、どのような要素を、どのような表現で、どのような構成にすればより伝わるようになるのか、具体的に伝授します。発信力アップにぜひご活用下さい。
■応募方法
各会場の web ページからお申し込みください

［東京］ https://www.jnpoc.ne.jp/?p=18300　応募締切 9/5(木)
［大阪］ https://www.jnpoc.ne.jp/?p=18256　応募締切 9/16(月)
［横浜］ https://www.jnpoc.ne.jp/?p=18298　応募締切 9/26(木)

■開催日時・会場

〔東京〕9/26(木)　 13:00-18:00　朝日新聞社（東京都中央区築地 5-3-2）
〔大阪〕10/4(金)　 13:00-18:00　大阪ボランティア協会（大阪府大阪市中央区 2 谷町 2 丁目 2-20）
〔横浜〕10/18(金) 12:30-17:30　神奈川近代文学館（神奈川県横浜市中区山手町 110）
＊会場の詳細は、ご参加確定後にお知らせします

■対象

(1)NPO など非営利組織の情報発信等の担当者
(2)NPO など非営利組織の代表、事務局長、またはそれに準ずる方

特にこのような方にお勧めです
・団体の価値を言葉でしっかり表したい
・情報発信に力を入れていきたい
・読む人に伝わる文章力を身につけたい
＊非営利の活動に従事していれば法人格は不問です
＊1 団体につき 2 名まで応募可能です

■定　員　各会場いずれも 30 名
■参加費　500 円　＊当日現金でお支払いください
■主　催　Yahoo!基金
協　力　日本 NPO センター、朝日新聞ジャーナリスト学校
〔大阪〕大阪ボランティア協会、〔横浜〕アクションポート横浜

■講師紹介（朝日新聞ジャーナリスト学校）

○早坂　敏文（はやさか・としふみ）さん

1982 年朝日新聞社入社。社会部次長、地域報道部次長、弘前支局長、週刊朝日 編集長代理、全日本写真連盟事務局長、水戸総局長、現在ジャーナリスト学校ディレクター。
「分かりやすく、相手の心に響く言葉をどう紡いでいくか。記者になって三十数年、ずっと悩み、苦しみながら文章を書いています。一つ心がけているのは、自分の文章に対して、一番厳しい読者になることです。まずは、注文の多い、とっても厳しい読者になってください」

○青木　康行（あおき・やすゆき）さん

1985 年朝日新聞入社。社会部次長、生活文化部次長、徳島総局長、福井総局長、 現在ジャーナリスト学校アウトリーチ事業担当部長。「みなさんが世界中の人たちに伝えたいと思っている、ＮＰＯ活動の中で感じた『喜び・怒り・哀しみ・楽しみ』。その情報を発信する橋渡しをサポートします。ふるってご参加ください」

○真下　聡（まっか・あきら）さん

1989 年朝日新聞社入社。編集局編集センター次長、報道局デジタル編集長、 教育総合本部ディレクター、現在ジャーナリスト学校ディレクター。「説明し説得する文章では、まず『何を書くか』、次に『どう書くか』が大事です。プロの記者だけでなく、大学生から高齢者まで多くの指導経験を生かし、みなさんの情報発信力を確実にアップさせます。楽しくやりましょう！」
■主な内容
1.レクチャー　読んでもらえる文章とは？
・こちらの問題意識をそのまま書いても読まれない
・アピールしたい相手に、課題を「自分事」と感じてもらうには
・具体的な「ニュース」が関心を呼ぶ
・読ませる表現スキルと作法
2.グループディスカッション
・疑問点を深める
・読み手の目になって考えてみよう
3.まとめ
・講師からのアドバイス
・Q&A
《事前学習》
あなたの団体の課題や活動などについて、文章にまとめて提出していただきます。
講師からコメントをつけて返却するとともに、講座内でそれを素材に議論を深めます。
＊ご参加決定後、内容や提出先・期限など、詳細をご案内します。

■「NPO の知らせる力プロジェクト」とは？
NPO など非営利団体で活躍する方々が取り組む「社会の課題」を、より多くの人たちに「届ける」ことを支援するプロジェクトとして、Yahoo!基金が 2017 年に立ち上げました。
一般の方々からの寄付と Yahoo! JAPAN のマッチング寄付により運営されています。
■お問合せ
特定非営利活動法人日本 NPO センター
（Yahoo!基金知らせる力プロジェクト「書き手講座」事務局）
〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 245
E-mail：shiraseru@jnpoc.ne.jp
TEL： 03-3510-0855　担当：清水、上田

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
SNS を活用した資金調達のコツを学ぼう！
日本郵便年賀寄附金配分事業説明会同時開催

-------------------------------------------------------------------
NPO/市民活動団体の皆さん、活動資金に悩んでいませんか?
この講座では、SNS を使った資金調達の方法や寄付促進の方法を学びます。
当日は、日本郵便年賀寄附金配分事業説明会を同時に開催します。
■日時　9 月 22 日(日) １４：００～１６：３０
■場所　ひらつか市民活動センター　AB 会議室
■講師　NPO 法人　平塚のら猫を減らす会　理事長 平田 昇 氏
☆平塚のら猫を減らす会さんは、IT や SNS を上手に活用しながら着実にファンを増やしています。
「助成金に頼らなくとも運営できる組織を目指したい」と話す平田さん。
講座では取り組みの秘訣と方法をお伺いします。
■参加費　500 円（資料代）
■定員　30 名
■申込み・問い合わせ先　ひらつか市民活動センター(担当：坂田、長谷川、高橋)
〒254‐0045 平塚市見附町 1-8
ＴＥＬ0463－31－7571　ＦＡＸ0463 -35-6601
E-mail　info@hiratsuka-shimin.net
URL　http://www.hiratsuka-shimin.net

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
日本フィランソロピー協会　第 361 回 定例セミナー
テーマ「障がい者雇用への新しい道筋」
-------------------------------------------------------------------
9 月のセミナーは、障がい者就労がテーマです。さまざまな形の就労支援や仕事の発注から、障がい者雇用につなげる方法の好事例を紹介し、CSR ご担当者のみならず、人事や経営企画ご担当の方々へのヒントを提供します。
■講師：金子健二氏（株式会社マーキュリー）那部智史氏（NPO 法人 AlonAlon）
■日時：2019 年 9 月 18 日（水）16:00～18:00（15:30 開場）
■会場：コニカミノルタジャパン株式会社（港区芝浦 1-1-1 浜松町ビルディング 26 階）
■詳細・お申込み
https://www.philanthropy.or.jp/seminar/361/

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
支援力アップ塾　ステップアップ編－２
「地域を耕す、相談活動」
-------------------------------------------------------------------

■開催日程
　2019 年 9 月２５日（水）10:00～17:00
■会　場
　東京ボランティア・市民活動センター　会議室
　（東京都新宿区神楽河岸 1-1 飯田橋セントラルプラザ 10 階）
■内　容
組織や立場は様々でも、地域をつなぐコーディネーターにとって「相談」は業務の要（かなめ）です。
今回の講座では、この「相談」について基礎から学びます。
詳細は WEB サイトをご覧ください。
https://www.tvac.or.jp/special/im/stepup/
■講　師
　唐木理恵子さん（日本ボランティアコーディネーター協会代表理事）
　山崎美貴子（東京ボランティア・市民活動センター所長）
■参加費　6,000 円
■定　員　４０名
■申込締切　９月１８日（水）
■申込方法
WEB サイト　https://www.tvac.or.jp/special/im/stepup/　内の入力フォーム、
または申込用紙による FAX でお申し込みください。
■問合せ先
東京ボランティア・市民活動センター　（榎本、相澤、朝比奈）
TEL：03-3235-1171　　FAX：03-3235-0050
E-mail：im@tvac.or.jp

●―――――――――――――――――――――――――――――――――
ファンドレイジング・日本　2019
-----------------------------------------------------------------
●テーマ　課題「解決」先進国をめざして
●開催日時　2019 年 9 月 14 日（土）～9 月 15 日（日）
●会場　駒澤大学　駒沢キャンパス（東急田園都市線「駒沢大学」駅）
●参加費　個人申込（通常　会員 21,000 円＋税、一般 30,000 円＋税）
●主催　認定 NPO 法人　日本ファンドレイジング協会　（03－6809－2590）
●詳細については、ホームページ参照　http://jfra.jp/frj/
●問い合わせ先　日本ファンドレイジング協会 FRJ2019 事務局
電話 03－6809－2590　E-mail：frj@jfra.jp

――――――――――――――――――――――――――――――――――

【募集】

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
2019年度　子どもたちのこころを育む活動
------------------------------------------------------------------
家庭・地域・学校・企業などがそれぞれの立場で、子どもたちのこころを育むために献身・努力している活動を募集します。
ぜひ、ご応募ください。
■主催　公益財団法人　パナソニック教育財団
■後援　文部科学省

■表　彰
全国大賞（１件）　　　賞状および賞金（50万円）
優秀賞　（５件程度）　賞状および賞金（20万円）

■対象となる活動
〇家庭、地域、学校、企業などのさまざまなグループで、継続している活動
〇子どもたちに持ってほしい“３つのこころ”が育まれる活動
１.自分に向かう“こころ”　・・・　自立心や自尊心を確立し、人間らしさや自分らしさを理解するこころ
２.他者に向かう“こころ”　・・・　人と人とのかかわりを大切にし、他者を思いやり、傷つけないこころ
３.社会に向かう“こころ”　・・・　さまざまな価値観を尊重し、社会と自分との関係性を理解するこころ
※活動の拠点が日本国内にあること。
※政治活動、布教、営利目的ではないこと。
※これまでの“こころを育む活動”受賞先は対象外です。
■応募方法
１.応募書類
本年度から、自薦に加え、他薦（推薦）も受け付けます。
応募申請書は４枚【必要事項１枚＋活動内容(400字原稿用紙)×３枚】です。
応募申請書　必要事項、 活動内容(原稿用紙）をダウンロードしてご作成ください。
※応募申請書の記載は日本語に限ります。

２.応募手順
ホームページから必要事項を登録のうえ、応募申請書を添付してください。
http://www.kokoro-forum.jp/project_kokoro/
３．応募締切
9 月 27 日(金) 17:00 まで

●――――――――――――――――――――――――――――――――
読売福祉文化賞を募集
-------------------------------------------------------------------
読売新聞社と読売光と愛の事業団は、新しい時代にふさわしい福祉活動に取り組んでいる団体などを顕彰する「第 17 回読売福祉文化賞」の受賞候補を募集します。
福祉全般を対象とする『一般部門』と、豊かで活力のある長寿社会を目指して高齢者を支援する活動を対象とする『高齢者福祉部門』の 2 部門に分けて受け付けます。
2020 年の東京オリンピックを見据え、障害者スポーツを支援する団体のご応募も歓迎いたします。
【賞】一般部門 3 件 (福祉全般対象)、高齢者福祉部門 3 件(高齢者を支援する活動対象) (活動支援金 各 100 万円)
【応募締め切り】 9 月 30 日(消印有効) 申請書など必要書類を光と愛の事業団までご郵送ください。詳しくは募集要項をご覧ください。
【募集要項・問い合わせ】
〒100?8055（住所不要）読売光と愛の事業団・読売福祉文化賞係
（電話 03・3217・3473　ホームページ https://www.yomiuri-hikari.or.jp/ ）へ

●――――――――――――――――――――――――――――――――
第 17 回企業フィランソロピー大賞
-------------------------------------------------------------------
日本フィランソロピー協会では、社会の課題解決のために、自社の経営資源を有機的・持続的に活用した社会貢献活動を顕彰する「企業フィランソロピー大賞」の今年度の募集を開始いたしました。
業種業態や規模の大小を問わず、社会課題の解決に力を注ぐ全国の企業からのご応募をお待ちしております。
■応募締め切り：2019 年 9 月 13 日（金）17：00
■詳細 ： https://www.philanthropy.or.jp/award/

●――――――――――――――――――――――――――――――――
第 25 回 NHK ハート展―詩の募集―

--------------------------------------------------------------------
■募集期間：9 月 5 日まで
■内容：障害のある人が書いた１００字程度の詩を募集。その詩をもとに制作したアート作品でハート展が開催。
■詳細：https://www.nhk.or.jp/heart-net/event/art/
■問合せ先：NHK 厚生文化事業団「NHK ハート展」係　03－3476-5955

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
「公園・夢プラン大賞」募集
--------------------------------------------------------------------
「公園・夢プラン大賞」は、全国の公園緑地等を舞台に、市民による自由な発想で実施されたイベントや活動、これからやってみたいアイデア・プランを募集し、審査・ 表彰するもので、公園を楽しく使いこなす人々をさらに増やしてゆくことを目指しています。
詳細は
https://yumeplan.prfj.or.jp/

■募集期間：4 月 19 日（金）～9 月 30 日（月）
■主催：一般財団法人公園財団
■問い合わせ：一般財団法人公園財団「公園・夢プラン大賞」係
TEL03-6674-1188
e-mail　：yumeplan@prfj.or.jp
――――――――――――――――――――――――――――――――――

【助成】

★NPO・制度

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
第 8 回 SJF(ソーシャルジャスティス基金)助成公募
--------------------------------------------------------------------
「公正な社会」とは、どのような社会でしょうか。
“Social Justice”とは何でしょうか。
いまの世論大勢や政策・法制度では見逃されがちだが、大切な問題にとりくむ市民活動を、資金助成と社会対話の場づくりを両輪として支援します。
■助成申請 受付期間　2019 年 9 月 1 日から 9 月 20 日

■助成金額
1案件の助成上限は100万円です。
■助成公募テーマ
[公募テーマ1]
『女性の権利、 LGBTの権利、 先住民・移民・難民の権利、 ビジネスと人権、 市民スペース(表現の自由・報道の自由を含む）の問題に対する取組み、人権を基盤として人の力を引出す活動(capability building)、脆弱な立場にある人への支援』
テーマ 1 については、活動方法は限定しませんが、アドボカシー活動を積極的に支援します。
活動現場から吸い上げた意見や想いを尊重する姿勢や、社会の仕組み・政策・制度をよりよく変えていく長期展望があることを期待します。
海外大手財団の指定枠(財団名は近日公表いたします)。総額500万円を予定
[公募テーマ2]
見逃されがちだが、大切な問題に対する取り組み』を対象としたアドボカシー(社会提案・政策提言)活動
公益財団法人庭野平和財団にご協力をいただいている総額200万円の助成です
（備考)両テーマとも自己資金充当、費用項目について条件はありません(助成金は人件費にも充当可能)。
■助成期間
以下のいずれかが対象となります。
・2020年1月から1年間　※テーマ1は1年間のみ。
・2020年1月から2年間
■応募資格 ※抜粋
公募テーマに即し、以下の大項目を満たす団体・法人(法人格を問わない)・個人の事業が対象です。
1)「不公正の是正」「市民社会の形成」を目的とした事業であること
2）アドボカシーカフェを共催し、多様な市民との対話ができること
3)「助成発表フォーラム」への参加
4）中間期、助成活動終了後の活動報告
5）活動地域: テーマ1については、申請事業の本拠地が日本にあり、日本の市民社会へ働きかける要素や日本の市民社会へのインパクトのある事業であれば、活動地域は日本に限りませんが東アジア地域であることを原則とします。
■詳細：上記は抜粋です。ご応募に際しては、必ず専用ページ( http://socialjustice.jp/p/2019fund/　)にて詳細をご確認ください。
■問合せ先
認定NPO法人まちぽっと ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)

〒160-0021 新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 5F
E-mail: info@socialjustice.jp
Tel: 03-5941-7948　　FAX: 03-3200-9250
URL: http://www.socialjustice.jp/　Twitter: https://twitter.com/socialjusticef Facebook: https://www.facebook.com/socialjusticefundjp

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
NPO 基盤強化資金助成
------------------------------------------------------------------
社会福祉事業「NPO 基盤強化資金助成」において、
（１）「組織および事業活動の強化資金助成」（助成対象：西日本）と
（２）「認定 NPO 法人取得資金助成」（助成対象：全国）
の二つのプログラムの募集をします。
■募集期間：2019 年 9 月 2 日（月）～10 月 11 日（金）
■詳細についてはホームページ参照
（１）https://www.sjnkwf.org/jyosei/kibankyouka.html
（２　https://www.sjnkwf.org/jyosei/nintei-npo.html
――――――――――――――――――――――――――――――――――――

★コミュニティ

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
2019 年 スミセイ　コミュニティスポーツ推進助成プログラム
～コミュニティスポーツによる健やかなひとづくりと社会づくりにむけて
------------------------------------------------------------------
住友生命健康財団では、2010 年に財団設立 25 周年を記念し、多様性のある健やかな社会の実現をめざし 「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」を開始しました。
私たちは、コミュニティスポーツを「地域に根ざした市民・NPO・専門家が協力し、スポーツを通じて 一人ひとりの健やかな暮らしの実現をめざす取り組み」と捉えています。
本プログラムでは、コミュニティスポーツを楽しむ文化が暮らしの中に根づき、じっくりと実を結んでいくような取り組みを応援します。
コミュニティスポーツを楽しむ全国のみなさまからのご応募をお待ちしています。
なお、このプログラムは、市民社会創造ファンドの企画・運営協力のもとに実施します。
■助成対象プロジェクト

【一般課題】地域の中で一人ひとりの健やかな暮らしの実現につながる独自性のあるコミュニティスポーツの実践
【特定課題】心身の障がいや長期療養などにより社会参加に困難を抱える人々を中心としたコミュニティスポーツの実践
＊上記の「実践」には、新たな事業の開発、既存の取り組みの評価やその普及・発展などのために、市民と研究者が協力して取り組む「実践研究」も含みます。
　但し、学術目的の研究は含みません。
■助成金額・助成件数
【第 1 種助成】 1 件あたり 50 万円以下 、14 件程度
【第 2 種助成】 1 件あたり 200 万円以下、4 件程度
＊新規助成の総額は、第 1 種助成と第 2 種助成を合せて 1,400 万円を予定。
■応募用紙の入手方法
第 1 種助成と第 2 種助成では応募用紙が異なります。
各応募用紙は住友生命健康財団の URL よりダウンロー ド。
郵送をご希望の場合は、郵便番号、住所、宛名、連絡先（電話番号）を明記し、「スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム 応募用紙郵送希望」とご記入のうえ、 住友生命健康財団宛に FAX にてご連絡ください。
URL：http://www.skzaidan.or.jp/
FAX：03-3352-2021
■助成期間 2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日（1 年間）
■応募受付期間　2019 年 9 月 4 日（水）～ 10 月 4 日（金）　必着
■応募先・お問い合わせ先
公益財団法人住友生命健康財団　事務局（担当：太田・天野）
〒160-0003　東京都新宿区四谷本塩町 4-41 住友生命四谷ビル 6 階
TEL：03-5925-8660　FAX：03-3352-2021
E-mail：sports@am.sumitomolife.co.jp　 URL：http://www.skzaidan.or.jp/

●―――――――――――――――――――――――――――――――――――
こくみん共済 coop〈全労済〉2019 年地域貢献助成事業
---------------------------------------------------------------------
こくみん共済 coop は、豊かで安心できる社会をめざして「防災・減災活動」「環境保全活動」「子どもの健全育成活動」を重点分野と位置づけ、積極的に地域社会へ貢献する活動を展開しています。
その一環として、「人と人とがささえあい、安心して暮らせる未来へ」をテーマに、これらの活動の輪を広げて、安心のネットワークをひろげていく取り組みを支援します。
■助成対象団体　(1)～(3)のすべてに該当する団体

(1)ＮＰＯ法人、任意団体、市民団体
(2)設立 1 年以上の活動実績を有する団体
(3)直近の年間収入が 300 万円以下の団体
■助成対象活動
(1)自然災害に備え、いのちを守るための活動
(2)地域の自然環境・生態系を守る活動
(3)温暖化防止活動や循環型社会づくり活動
(4)子どもや親子の孤立を防ぎ、地域とのつながりを生み出す活動
(5)困難を抱える子ども・親がたすけあい、生きる力を育む活動
■助成内容
(1)助成総額：2,000 万円（上限）予定
(2)1 団体に対する助成上限額：30 万円
■応募受付期間
　2019 年 9 月 20 日（金）～10 月 10 日（木）当日メール受付・消印有効
■詳細　https://www.zenrosai.coop/zenrosai/csr/joseijigyou
■応募書類提出先・お問い合わせ
こくみん共済 coop　ブランド戦略部内　地域貢献助成事業事務局
〒151-8571　東京都渋谷区代々木 2-12-10
TEL：03-3299-0161　（平日 10 時～17 時 土日祝除く）
メール： 90_shakaikouken@zenrosai.coop

●――――――――――――――――――――――――――――――――
大和証券福祉財団
令和元年度（第 26 回）ボランティア活動助成募集のご案内
--------------------------------------------------------------------
■応募課題
1.高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動
　※平成 28 年度以降（第 23 回～25 回）の受贈団体は、応募資格がありません。
2.地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動
　※過去の助成を受けた時期での応募制限はありません。
　※大規模自然災害とは、「東日本大震災」「平成 28 年熊本地震」「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」「大阪府北部地震」「平成 30 年 7 月豪雨」北海道胆振東部地震」等
■応募資格
ボランティア活動を行っているメンバーが 5 名以上で、かつ営利を目的としない団体
（任意団体、NPO 法人、財団法人、社団法人、大学のボランティアサークル等）。

※活動実績は問いませんが、設立して間もない団体による応募は、助成対象期間の活動予定が決まっている団体に限ります。

※同時募集の「第2回子ども支援活動助成」との同時応募はできません。

■助成金額

上限30万円（1団体あたり）

総額4，500万円

■助成対象経費

1.助成対象となる経費の項目は下記のとおりです。

「謝金」「交通費・旅費」「備品」「消耗品費」「通信費」「会場費」「制作費」「その他」

詳細は、下記の「申請書記入等における注意事項」の「9．助成金使途内訳」をご覧ください。

2.下記の経費は、助成の対象外となります。

（1）記念事業（記念行事、記念誌の発行等）

（2）他のボランティア団体への助成

（3）団体のメンバーに対する謝金

（4）団体の事務所の家賃・人件費・光熱費等の運営費

※なお、ボランティア活動に必要なメンバーの交通費・旅費、及び居場所等の運営に必要な家賃等の費用は助成の対象となります。

■応募期間

本年8月1日（木）～9月15日（日）（当日消印有効）

■助成対象期間（領収書の有効日付）

令和2年1月1日（水）～12月31日（木）

■応募方法

1.所定の「申請書」を当財団事務局宛にご郵送ください。

※申請書は、当財団のホームページからダウンロードできます。

http://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/outline.html

2.申請書のコピーは、必ずお手元に保管しておいてください。

3.お送りいただきました書類の返却はできませんのでご了承ください。

■送付先

〒104-0031　東京都中央区京橋1-2-1　大和八重洲ビル

公益財団法人大和証券福祉財団　事務局

■問合せ先

TEL：03-5555-4640　FAX：03-5202-2014

Eメール：　fukushi@daiwa.co.jp

●――――――――――――――――――――――――――――――――――

トヨタ財団一般助成（しらべる助成／そだてる助成／発信・提言助成）
-------------------------------------------------------------------
＜趣旨＞
トヨタ財団の国内助成プログラムでは、今年度は「未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ　―地域に開かれた活力ある課題解決の仕組みを通じて―」をテーマとして公募を実施します。
助成カテゴリーは昨年度と同様で、地域の実態を明らかにする調査およびその結果を踏まえた事業戦略の立案に取り組む「しらべる助成」と、多様な主体と共に地域の課題解決の仕組みづくりやその担い手の育成に取り組む「そだてる助成」で公募を実施します。
併せて、過去（2009 年度～）に「国内助成プログラム」の助成を受けたプロジェクトが、その成果やそこから明らかになった課題に基づき、社会の仕組みや価値観を変えることをめざして実施する政策提言や社会提案などに取り組む「発信・提言助成」を非公募で実施します。
日本社会が直面する課題を乗り越え、さらにはその在り方を問い直して新しい価値の提案や創造につながるような先駆性や躍動感ある営みが、全国各地で展開されることを期待しています。

■応募受付期間
2019 年 8 月 19 日（月）～9 月 30 日（月）午後 3 時
■助成総額
1 億 1,000 万円（しらべる助成：約 2,000 万円、そだてる助成：約 8,000 万円、発信・提言助成：約 1,000 万円）
■助成カテゴリー
A.しらべる助成：地域や人々を取り巻く環境や生じている課題を明らかにする「調査」、およびその結果を踏まえた「事業戦略の立案」までの【調査活動】への助成
B.そだてる助成：地域の実態を踏まえ、地域に関わる多様な人々や組織と共に課題解決の仕組みづくりや未来の担い手育成に取り組む【事業】への助成
C.発信・提言助成：過去に助成を受けたプロジェクトの成果やそこから明らかになった課題に基づき、社会の仕組みや価値観を変えることをめざして実施する政策提言や社会提案などに取り組む活動への助成
■助成額
A.しらべる助成：上限 100 万円／件
B.そだてる助成：上限なし（過去 3 年間の実績平均 654 万円／2 年）
C.発信・提言助成：上限 600 万円／件
※助成額を含む助成内容は選考委員会での選考を経て決定します。
■助成期間

A.しらべる助成：2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日（1 年間）
B.そだてる助成：2020 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日（2 年間）
C.発信・提言助成：2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日（1 年間）
対象となる組織
A および B：40 代までのメンバー1 名以上を含む、プロジェクト実施に必要な人材や組織で構成されたチーム（※運営の中心を担う組織の法人格の有無や種類は問いません。）
C：過去（2009 年度〜）に「国内助成プログラム」の助成対象者
■助成の決定
外部有識者（学識経験者および NPO 関係者）によって構成される選考委員会の書類審査を経て、2020 年 3 月に開催予定の理事会にて決定
■詳細は
URL：http://www.toyotafound.or.jp/community/2019/
■問い合わせ先
公益財団法人トヨタ財団　国内助成プログラム担当
TEL：03-3344-1701（月〜金曜日（祝祭日を除く）10：00〜17：00）
FAX：03-3342-6911
Email：gp4ca@toyotafound.or.jp
――――――――――――――――――――――――――――――――――――

★子ども・若者・女性

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
子供の未来応援基金　第 4 回支援団体募集
-------------------------------------------------------------------
■事業の目的：貧困の状況にある子供たちが抱える困難は様々であり、貧困の連鎖を解消するため には、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を弾力的に行うことが必要です。
草の根で支援活動を行うＮＰＯ法人等の運営基盤の強化や、掘り起こしを行い、社会全体で 子供の貧困対策を進める環境を整備するため、ＮＰＯ法人等へ支援金を交付します。
■支援対象団体：公益法人（公益社団法人又は公益財団法人） NPO 法人（特定非営利活動法人） 一般法人（一般社団法人又は一般財団法人） その他ボランティア団体、町内会など非営利かつ公益に資する活動を行う法人又は任意団体
■支援対象事業 （実施期間）：◎ 学びの支援 ◎ 居場所の提供・相談支援 ◎ 衣食住など生活の支援 ◎ 児童または保護者の就労支援 ◎ 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援
■支援対象事業 （実施期間）：子供の貧困対策のための事業 （2020 年 4 月 1 日から 2021

年 3 月 31 日まで）
■支援金額等
　事業 A 上限金額　300 万円
　事業 B（新設）　30 万円または 100 万円
■対象経費：支援事業を実施するために真に必要な経費
※事業Ａ及び事業Ｂの同時申請は不可とします。
募集の要件等については必ず募集要領をご確認ください。
■応募期限： 2019 年 9 月 20 日（金）17 時まで
■詳しくは、独立行政法人福祉医療機構ホームページをご覧ください。
https://www.wam.go.jp/hp/miraiouen4th/
■問合せ先
独立行政法人 福祉医療機構 NPO リソースセンター NPO 支援課
電話：03-3438-4756　FAX：03-3438-0218 月曜～金曜 9：00～17：00（ 祝祭日除く）
（なお、つながりにくい場合は 03-3438-9942 におかけください。）

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
ベネッセ子ども基金
重い病気を抱える子どもの学び活動支援助成
----------------------------------------------------------------
当財団では、未来ある子どもたちの学びの支援に取り組む団体への助成を通じて、子どもたちの学習環境整備や学びの機会づくりに寄与することを目指します。
「重い病気を抱える子どもの学び支援」をテーマに、重い病気などによって学びへの意欲向上や学習支援などが必要な子どもたちに対して、学習の機会の提供や学習環境作りなどの活動に取り組む団体を支援します。
■募集についての詳細は
https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/learningopp_2.html
■提出期限　2019 年 9 月 25 日（水）※必着
■提出方法　応募書類は下記の方法でご提出ください。
　〇メールの場合 kodomokikin@grop.co.jp
　〇郵送の場合
　　〒277-0831 千葉県柏市根戸 206-3 北柏ビル 2F
　　(株)グロップ内　ベネッセこども基金助成事務局

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
東京海上日動あんしん生命　給付型奨学金制度・幼児教育支援制度募集
--------------------------------------------------------------------

東京海上日動あんしん生命保険株式会社は、社会貢献活動の一環として「遺児への教育・養育支援」を実施しています。
がんなどの疾病により保護者を亡くした子どもたちのために、同社が基金を設立し将来を支える世代をサポートしていきます。
当協会は事務局を担当しています。
■申請締め切り：2019 年 10 月 31 日（木）当日消印有効
■詳細　：https://www.philanthropy.or.jp/anshin/

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
住友生命　未来を強くする子育てプロジェクト募集
ー子育て支援活動の表彰・女性研究者への支援ー
-------------------------------------------------------------------

1 子育て支援活動の表彰
■趣旨
より良い子育て環境づくりに取り組む個人・団体を募集します。各地域の参考になる特徴的な子育て支援活動を社会に広く紹介し、他地域への普及を促すことで、子育て環境を整備し、子育て不安を払拭することを目的としています。
■対象
より良い子育て環境づくりに資する活動を行い、成果を上げている個人・団体（規模は問いませんが、次の要件を満たすことが必要）を対象とします。
■要件
１）子育て支援に資する諸活動を継続的に行っていること。
２）活動内容が社会に認められ、ロールモデルとなりうるものであること。
３）活動の公表を了承していただける個人・団体であること。
４）日本国内で活動している個人・団体であること。
５）受賞時に、団体名・連絡先、代表者等の氏名（本名）、活動の写真、活動内容等を、新聞・雑誌、インターネット等での公表にご協力いただける方。マスコミなどからの取材にご協力いただける方。

２　女性研究者への支援
■趣旨
育児のため研究の継続が困難となっている女性研究者および、育児を行いながら研究を続けている女性研究者が、研究環境や生活環境を維持・継続するための助成金を支給します。
人文・社会科学分野における萌芽的な研究の発展に期待する助成です。
■対象

現在、育児のため研究の継続が困難な女性研究者および、子育てをしながら研究を続けている女性研究者を対象とし、次の要件を満たす方の中から決定します。
■要件
１）人文・社会科学分野の領域で、有意義な研究テーマを持っていること。
２）原則として、応募時点で未就学児（小学校就学前の幼児）の育児を行っていること。
３）原則として、修士課程資格取得者または、博士課程在籍・資格取得者であること。
４）2 名以上の推薦者がいること（うち 1 名は、従事した、または従事する大学・研究所等の指導教官または所属長であることが必須）。
５）現在、大学・研究所等に在籍しているか、その意向があること。
６）支援を受ける年度に、他の顕彰制度、助成制度で個人を対象とした研究助成を受けていないこと（科研費・育児休業給付などは受給していても応募いただけます）。
７）受賞時に、氏名（本名）やご家族との写真、研究内容等を、新聞・雑誌、インターネット等での公表にご協力いただける方。また、マスコミなどからの取材にご協力いただける方。
※この事業では、過去の実績ではなく、子育てをしながら研究者として成長していく方を支援したいと考えています。そのため、研究内容のみで判断することはありません。
※国籍は問いませんが、応募資料等への記載は日本語に限ります。

３　応募方法
応募用紙を
http://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/community/mirai_child/
からダウンロードし基本情報をご記入の上、必要資料と一緒にお送りください。
４　募集期間
2019 年 7 月 8 日（月）～2019 年 9 月 6 日（金）必着
５　選考
事務局による選考の後、「未来を強くする子育てプロジェクト」選考委員による選考会を経て、受賞者を決定します。
６　発表
受賞者は、2020 年 3 月に都内で実施予定の表彰式および「未来を強くする子育てプロジェクト」の web サイト等で発表します。受賞者には 2020 年 1 月末までに直接ご連絡いたします。

７　表彰
１）子育て支援活動
◎文部科学大臣賞／表彰状　※スミセイ未来大賞の 1 組に授与
◎厚生労働大臣賞／表彰状　※スミセイ未来大賞の 1 組に授与
◎スミセイ未来大賞／表彰盾、副賞 100 万円　※2 組程度

◎スミセイ未来賞／表彰盾、副賞 50 万円　※10 組程度
２）女性研究者
◎スミセイ女性研究者奨励賞　10 名程度
助成金として 1 年間に 100 万円（上限）を 2 年間まで支給します。助成期間は 2020 年 4 月から 2022 年 3 月までの 2 年間の予定です。

■宛先・お問合せ先
「未来を強くする子育てプロジェクト」事務局
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-14-7 光ビル
電話：03-3265-2283（平日 10:00～17:30）
http://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/community/mirai_child/
――――――――――――――――――――――――――――――――――――

★環境

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
三井物産環境基金 ～未来につながる社会をつくる～
 2019 年度 活動・研究助成案件の募集
-----------------------------------------------------------------------
2005 年に設立した三井物産環境基金は、地球環境問題の解決と持続可能な社会の構築に貢献するさまざまな案件を支援してきました。
助成の選考基準のポイントとなるのは、国連 SDGs の原題にある「Transforming our world」によって実現する将来の目指す社会が、明確に描かれている案件であること、また、地球環境課題の解決や持続可能な社会の実現にどのように貢献するか具体的シナリオが提示されていることです。
■申請締切 :2019 年 9 月 24 日（火）24 時　電子メール到着
■2019 年度活動助成・研究助成募集要項
　https://www.mitsui.com/jp/ja/release/2019/1229327_11203.html

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
2019 年　花王・みんなの森づくり　活動助成プログラム
-----------------------------------------------------------------------
緑や自然との触れ合いは、子どもたちの豊かな心を育み、人々に安らぎを与えてくれます。より良い 環境を引き継いでいくためには、緑豊かな環境づくりと、それを育む人づくり、そしてなにより取組を 継続していくことが大切であると考えます。

「花王・みんなの森づくり活動」では、下記のような緑を 守り育てる多様な活動を支援してまいります。
持続可能な社会づくりに向けた先駆的な活動のご応募を お待ちしております。
尚、本プログラムでの助成は 2019 年募集で終了となります。
これまでの成果を とりまとめ、広く発信していくとともに、今後のよりよい環境や社会づくりに活かしてまいります
1 持続可能な森づくり活動　 2 人づくり活動(環境教育活動) 3 花と緑のコミュニティづくり活動　 4 地域の生物多様性を守る活動
■応募対象団体
身近な緑を守り育てる活動、身近な緑の大切さを 次世代に伝える活動に取組んでいる団体 ・ 任意の市民団体、NPO、町内会・自治会、学校などを
■助成の期間及び金額
2020 年 3 月から 2022 年 3 月までの 2 年間の助成。 各年 50 万円を上限に助成
■助成の件数
今回の募集で 15〜20 団体程度を新規に選定し、継続団体分と合わせ総額 2000 万円を助成
■応募方法 2019 年「花王・みんなの森づくり活動助成」申請書に必要事項を明記の上、その他の必要資料とともに郵送でご応募ください。
■申請書の入手方法（公財)都市緑化機構（花王・みんなの森づくり活動 助成事務局）のウェブサイトよりダウンロード頂く か、下記問い合わせ先までお問合せ下さい。郵送 いたします。
https://urbangreen.or.jp/grant/kao_minnanomori/youkou-kao
■応募受付期間 2019 年 8 月 1 日~10 月 14 日(消印有効)
■お申込み及びお問合せ先 公益財団法人都市緑化機構「花王・みんなの森づくり活動助成」事務局
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-4 田村ビル２階
電話：０３－５２１６－７１９１ / FAX：０３－５２１６－７１９５
e-mail：midori.info@urbangreen.or.jp
URL:https://urbangreen.or.jp

●――――――――――――――――――――――――――――――――――――
TOYO TIRE グループ環境保護基金　2020 年度助成先募集開始
-------------------------------------------------------------------
TOYO TIRE グループ環境保護基金は、環境保護活動を行う非営利団体を資金面で支援することを目的として 1992 年に設置され、これまで延べ 889 団体に対し、累計 5 億 4,500 万円（2019 年 4 月末現在）の助成を行なってきました。

当協会が事務局を担当し、7 月 1 日（月）より 2020 年度の助成先の募集を開始しました。
■申請締め切り：2019 年 9 月 30 日（月）当日消印有効
■詳細 ：https://www.philanthropy.or.jp/toyotires/

●――――――――――――――――――――――――――――――――――
令和２年度　花博自然環境助成
-----------------------------------------------------------------
公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会は、１９９０年（平成２年）に開催された国際花と緑の博覧会の「自然と人間との共生」という理念の継承、発展につながる調査研究や活動並びに被災地復興を支援し、潤いのある豊かな社会の創造に寄与することを目的として、助成事業の公募を行っています。
令和２年度（2020 年度）の公募概要については、次のとおりです。

■助成の対象
１）対象分野国際花と緑の博覧会の「自然と人間との共生」という理念の継承、発展または普及啓発に資する事業であって、生命の象徴としての「花と緑」に関連する広汎な分野において、科学技術、文 化の発展または交流に寄与するものを対象としています。
２）事業区分
（１）調査研究：植物や鳥、昆虫などの生き物の分布、生態、分類などに関する調査研究 生活文化の中に取り入れられた植物と人間に関する調査研究 国内外の日本庭園や花卉園芸品種などに関する調査研究 上記のような調査研究等の成果に関する講演会、シンポジウム、出版など 先進的、効果的な都市緑化に関する技術開発 緑化樹木や花卉の品質向上、生産・流通に関する技術開発など
（２）活動・行催事：ア．活動 植物や鳥、昆虫などの生き物の保全、育成に関する活動 市民による花と緑の地域づくりに関して、全国的にも好例となるような活動　イ．行催事 花と緑の効果的な普及啓発につながるイベント 自然環境の保全、育成に関するセミナー、シンポジウム、事業の成果に関する出版な ど
（３）復興活動支援：東日本大震災及び熊本地震、平成３０年７月豪雨の被災地である、青森、岩手、宮城、 福島、茨城、千葉、岡山、広島、熊本、大分等の各県における仮設住宅の周辺や公共 的な空間などにおける花や緑を活用した復興活動で次のもの 花や緑の苗木の植栽 花壇やプランターなどの整備や栽培指導 切り花や寄せ植え等の多様な花育活動 花や緑に関する専門家の派遣 その他、花や緑を活用した復興活動
３） 応募対象者 （１）公益法人（財団法人、社団法人） （２）特定非営利活動法人（ＮＰＯ） （３）人格なき社団のうち非収益団体で代表者の定めがあるもの （研究グループ、実行委員会、活動クラブ、友の会、ボランティア団体など）
４）事業の実施場所　 原則として日本国内とします。

５）助成対象の事業実施期間 令和２年（2020 年）４月１日から令和３年（2021 年）２月２８日までの任意の期間
６）助成金
（１）助成する金額：助成金額及び助成率は、事業区分に応じて次のとおりです。 ・調査研究 ：一件当たり１００万円以内で、４分の３以内 ・活動・行催事：一件当たり ５０万円以内で、４分の３以内 ・復興活動支援：一件当たり ５０万円以内で、５分の４以内
（２）助成の対象となる経費：・備品費 ・消耗品費 ・使用料賃借料 ・印刷製本費 ・通信運搬費 ・賃金 ・謝金 ・旅費交通費 ・委託費（復興活動支援のみ対象）

■応募の手続き
１）提出書類 「花博記念協会助成金交付申請書（様式１)」に必要事項を記入し、添付書類（様式１の 11 に記載）とともに当協会宛てに送付してください。
※申請書類等は、事業区分に応じて、協会ホームページよりダウンロードしてください。URL：https://www.expo-cosmos.or.jp/main/zyosei/ ダウンロードできない方、手書きでご応募の方は、別途お送り致します。 また、申請書及び添付書類の提出部数は各１部とし、Ａ４サイズで揃えてください。
２）提出方法 clover@expo-cosmos.or.jp までメールでお送りください。郵送の場合は、簡易書留郵便など、 安全かつ確実な方法で当協会あてに提出してください。
３）受付期間 令和元年（2019 年）８月１日（木）〜令和元年（2019 年）9月１３日（金）（当日消印有効）

■審査及び助成先の決定について
審査及び採否の通知 有識者で構成する助成事業審査委員会を設け、審査を行います。
ア．調査研究、活動・行催事
・１０月〜１２月 提出書類にもとづく一次審査を行い、二次審査対象団体を選出します。
・翌年１月 プレゼンテーションにもとづく二次審査を行い、助成対象団体を決定します。
・２５万円以下の少額助成（調査研究、活動・行催事とも）は、プレゼンテーションによる二次審査は行わず、引き続き書類による二次審査を実施します。
・一次審査結果については１２月（予定)、二次審査結果については翌年２月上旬（予定）に 通知いたします。
イ．復興活動支援
・１０月〜１２月 提出書類にもとづく審査を行い、対象団体を決定し、翌年２月上旬（予定）に通知いたします。

■詳細はこちら https://www.expo-cosmos.or.jp/uploads/zyosei/pdf/ouboyoukou-02.pdf
■問い合わせ先

〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園２－１３６
公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会
企画事業部第１課
ＴＥＬ：０６－６９１５－４５１６　ＦＡＸ：０６－６９１５－４５２４
Ｅ－ｍａｉｌ：clover@expo-cosmos.or.jp
――――――――――――――――――――――――――――――――――

●―――――――――――――――――――――――――――――――――
※アリスセンターに情報（情報紙や案内チラシ、メール等）を寄せてくれた団体で
メールアドレスがわかる団体は、らびっとにゅうずの配信登録をさせていただいて
おります。らびっとにゅうずが不要な場合は、アリスセンター
office@alice-center.jp
までお知らせください。

※郵送でいただいた情報もらびっとにゅうずに掲載
させていただきますが、らびっとにゅうず掲載希望の情報は
できるだけメールで送っていただければ助かります。
らびっとにゅうず掲載希望情報送り先
office@alice-center.jp
よろしくお願いします

●―――――――――――――――――――――――――――――――――
〇アリスセンターは、市民と地域社会の自立を目指し、市民がまちづくりの主体
となるための実践や政策提言を支援しています。市民活動の情報、 NPO の政策提
言づくり、NPO や企業、行政の協働などに取り組んでいます。
http://alice-center.jp/wp/

=====-======-=====-======-=====-======-=====-======-====
◆◆発行◆◆
特定非営利活動法人　まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）
〒231-0001
横浜市中区新港 2-2-1　横浜ワールドポーターズ 6F　NPO スクエア
TEL：045-212-5835（留守番電話です）
E-mail：office@alice-center.jp
発行人：内海宏